

誤送信対策機能を強化した「GUARDIANWALL」ならびに「WEBGUARDIAN」の  
 新バージョンを1月25日(火)より販売開始

キヤノンMJ ITグループのキヤノンITソリューションズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:浅田和則、以下キヤノンITS)は、電子メールフィルタリングソフトウェアとして9年連続国内シェア1位<sup>※</sup>の情報漏えい対策ソリューション「GUARDIANWALL(ガーディアンウォール)」の新バージョン(Ver.7.4)、および同GUARDIANシリーズのWeb利用からの情報漏えい対策ソリューション「WEBGUARDIAN(ウェブガーディアン)」の新バージョン(Ver.3.6)を2011年1月25日(火)より販売開始します。



■ 電子メール誤送信対策機能の強化

GUARDIANWALL Ver.7.4では誤って送信してしまったメールを送信者自身が削除することができる「電子メールの一時保留機能」や、メールの誤送信が発生してしまった場合にも、情報漏えいのリスクを低減する「添付ファイルの自動暗号化機能」を新たに搭載し、電子メールの誤送信対策機能を大幅に強化しました。

■ GUARDIANWALLサブスクリプションモデルの追加

GUARDIANWALL Ver.7.4販売開始にあわせて、年間利用料のみでAdvancedモデルと同等機能が利用できるライセンス体系(サブスクリプションモデル)を追加しました。

■ ソーシャルウェブからの情報漏えいへの対応

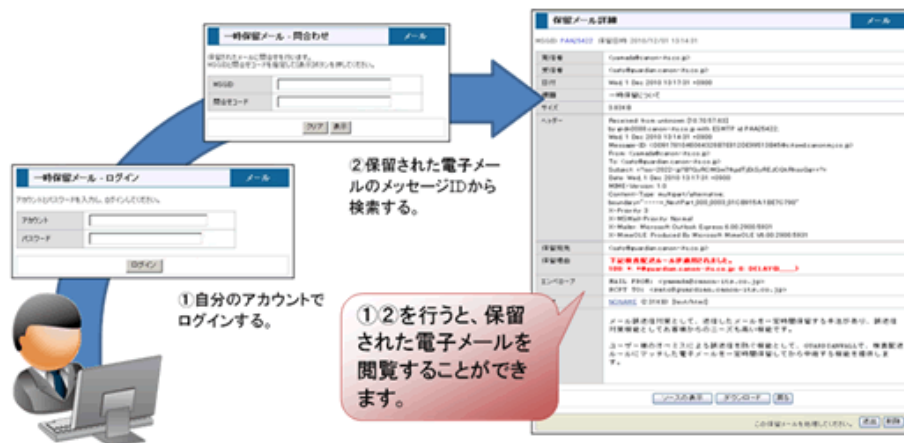
WEBGUARDIAN Ver.3.6では近年企業での利活用が進んでいるSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)への対応として、それらを利用して発信されたメッセージの保存・閲覧が可能な「ソーシャルウェブ閲覧機能」を追加しました。

※ 株式会社富士キメラ総研調べ

<電子メール誤送信対策機能の強化(GUARDIANWALL Ver.7.4)>

1. 「電子メールの一時保留機能」の追加

- ・ 電子メールの誤送信は送信直後に送信者自身が気づくことが多いため、送信した電子メールをすぐに取り消すことができれば、多くの誤送信を未然に防ぐことができます。
- ・ 「電子メールの一時保留機能」は送信した電子メールを一定時間保留することができるため、送信者が誤送信に気づいた場合には、その電子メールを削除することができます。また、一定時間経過後には自動送信されるため、操作忘れによりメールが送信されていなかったというような問題も発生しません。



「電子メールの一時保留機能」での電子メール管理利用イメージ

## 2. 「添付ファイル自動暗号化機能」の追加

- ・重要な情報が添付されているメールの誤送信が発生してしまった場合、その添付されていたファイルが十分な強度 ※で暗号化されていれば、そのファイル内容が漏えいする可能性は低くなります。
- ・「添付ファイルの自動暗号化機能」は外部へ送信される電子メールに添付ファイルが付加されていた場合、その添付ファイルをパスワード付きの暗号化ファイルに変換する機能です。複数の添付ファイルの場合は、1つのファイルにまとめて暗号化します。



「添付ファイル自動暗号化機能」イメージ

※ オプション(有償)の「SecureZIP for GUARDIANWALL」を利用したAES256bit暗号化を推奨します。

※ 「SecureZIP for GUARDIANWALL」を利用されない場合、パスワード付きZIPファイルでの送信となります。

### <GUARDIANWALLサブスクリプションモデルの追加>

#### 1. 「購入する」から「利用する」へ

- ・ソフトウェアは「購入する」から「利用する」時代へと変化しています。このような時代の変化に合わせ、旧来の一括購入型のライセンス体系以外に、年間利用料金を設定したサブスクリプションモデルを追加します。
- ・一括購入型のライセンスでは、ユーザー数の増大による追加ライセンス購入は可能でしたが、ユーザー数の減少には対応できませんでした。サブスクリプションモデルでは、組織規模の変更に合わせて必要なユーザー数のライセンスを選択できるため、無駄な投資を防ぐことができます。
- ・また年間利用料金のみで利用が可能のため、初期費用を削減でき、より幅広い導入要望に応えることができるようになります。

#### 2. 「追加サーバーライセンス」の適用除外

- ・進化する技術への追従やクラウドサービスの活用など、組織の抱えるシステム構成は日々変化しています。サブスクリプションモデルでは、システム構成の変更にも柔軟に対応できるように、サーバー台数による制限を設けず、何台のサーバーであっても自由に使用することが可能です。これにあわせ、サブスクリプションモデルには、旧来のモデルに設定されているユーザー数無制限のライセンスを設けず、ユーザー規模に応じた価格を設定します。

#### 3. 機能

- ・「GUARDIANWALL Advancedモデル(全文検索機能付き)」と同等です。
- ・機能制限や付加機能はありません。

#### 4. 販売情報

・[サブスクリプションモデル 価格表] ※1

ユーザー数	年間利用料金※2(税別) (契約期間1年)
50	¥624,000
100	¥720,000
250	¥864,000
500	¥1,008,000
1,000	¥1,248,000
1,500	¥1,488,000
2,000	¥1,728,000
2,500	¥1,968,000
3,000	¥2,124,000
4,000	¥2,448,000
5,000	¥2,772,000

※1 サービス提供者向けには、より柔軟な価格体系を準備しています。詳細はお問い合わせください。

※2 上記の年間利用料金には、契約期間中のバージョンアップ媒体送付ならびに電話・E-mailによるユーザーサポートが含まれます。

#### <ソーシャルウェブからの情報漏えいへの対応 (WEBGUARDIAN Ver3.6)>

##### 1. 「ソーシャルウェブ閲覧機能」の追加

- インターネットによるコミュニケーション手段は日々進化しています。その中でもソーシャルネットワークでのメッセージに代表されるような情報発信型のコミュニケーション手段には、情報漏えいの危険性が含まれます。このようなコミュニケーション手段を利活用する場合には、どのような情報が社外へ発信されているのか把握する必要があります。
- 「ソーシャルウェブ閲覧機能」では、社内からソーシャルネットワーキングサービスを利用して発信されたメッセージのログを保存し、それらのメッセージ本文や添付ファイルを閲覧・監査することが可能です。



#### <販売情報>

##### 1. GUARDIANWALL Ver7.4価格表

[既存モデル<sup>※1</sup>]

ユーザー数	GUARDIANWALL Standardモデル		GUARDIANWALL Advancedモデル <sup>※2</sup>	
	希望小売価格 (税別)	年間保守料金 <sup>※3</sup> (税別)	希望小売価格 (税別)	年間保守料金 <sup>※3</sup> (税別)
50	¥960,000	¥144,000	¥1,300,000	¥180,000
100	¥1,100,000	¥165,000	¥1,500,000	¥210,000
250	¥1,400,000	¥210,000	¥1,800,000	¥255,000
500	¥1,600,000	¥240,000	¥2,100,000	¥300,000
1,000	¥1,950,000	¥292,500	¥2,600,000	¥375,000
1,500	¥2,340,000	¥351,000	¥3,100,000	¥450,000
2,000	¥2,730,000	¥409,500	¥3,600,000	¥525,000
2,500	¥3,120,000	¥468,000	¥4,100,000	¥600,000
無制限	¥3,900,000	¥585,000	¥5,100,000	¥750,000

※1 2台以上のサーバーに導入して使用する場合には、製品ライセンスとは別に追加サーバーライセンスが必要です。2台目の価格は、上記価格の50%となります。保守料金は2台分必要です。3台目以降はお問い合わせください。

※2 GUARDIANWALL Advancedモデルは、Standardモデルに全文検索機能が追加されたモデルです。

※3 上記年間保守料金に含まれる内容は、保守期間中のバージョンアップ媒体送付、ならびに電話・E-mailによるユーザーサポートを提供するものです。保守は、初年度から必須となります。

[サブスクリプションモデル ※4※5※6]

ユーザー数	年間利用料金※7(税別) (契約期間1年)
50	¥624,000
100	¥720,000
250	¥864,000
500	¥1,008,000
1,000	¥1,248,000
1,500	¥1,488,000
2,000	¥1,728,000
2,500	¥1,968,000
3,000	¥2,124,000
4,000	¥2,448,000
5,000	¥2,772,000
5,001以上	お問い合わせください

※4 GUARDIANWALLサブスクリプションモデルは、Advancedモデルと同等の機能を年間利用料金により利用できるモデルです。

※5 2台以上のサーバーに導入して使用する場合、追加サーバーライセンスは不要です。

※6 サービス提供者向けには、より柔軟な価格体系を準備しています。詳細はお問い合わせください。

※7 上記の年間利用料金には、契約期間中のバージョンアップ媒体送付ならびに電話・E-mailによるユーザーサポートが含まれます。

2. WEBGUARDIAN Ver3.6価格表

[一般向けライセンス ※1]

ユーザー数※2	新規通常価格(税別) (契約期間1年)	新規乗換価格※3(税別) (契約期間1年)	更新価格(税別) (契約期間1年)
25	¥150,000	¥75,000	¥75,000
50	¥250,000	¥125,000	¥125,000
75	¥337,500	¥168,750	¥168,750
100	¥400,000	¥200,000	¥200,000
200	¥600,000	¥300,000	¥300,000
300	¥750,000	¥375,000	¥375,000
400	¥800,000	¥400,000	¥400,000
500	¥950,000	¥475,000	¥475,000
600	¥1,080,000	¥540,000	¥540,000
700	¥1,120,000	¥560,000	¥560,000
800	¥1,200,000	¥600,000	¥600,000
900	¥1,260,000	¥630,000	¥630,000
1,000	¥1,300,000	¥650,000	¥650,000
1,500	¥1,425,000	¥712,500	¥712,500
2,000	¥1,800,000	¥900,000	¥900,000
2,500	¥2,125,000	¥1,062,500	¥1,062,500

[アカデミック・ガバメント向けライセンス ※1]

ユーザー数※2	新規通常価格(税別) (契約期間1年)	新規乗換価格※3(税別) (契約期間1年)	更新価格(税別) (契約期間1年)
25	¥105,000	¥52,500	¥52,500
50	¥175,000	¥87,500	¥87,500
75	¥236,250	¥118,125	¥118,125
100	¥280,000	¥140,000	¥140,000
200	¥420,000	¥210,000	¥210,000
300	¥525,000	¥262,500	¥262,500
400	¥560,000	¥280,000	¥280,000
500	¥665,000	¥332,500	¥332,500
600	¥756,000	¥378,000	¥378,000
700	¥784,000	¥392,000	¥392,000
800	¥840,000	¥420,000	¥420,000
900	¥882,000	¥441,000	¥441,000
1,000	¥910,000	¥455,000	¥455,000
1,500	¥997,500	¥498,750	¥498,750
2,000	¥1,260,000	¥630,000	¥630,000
2,500	¥1,487,500	¥743,750	¥743,750

※1 上記料金には、契約期間中のバージョンアップ媒体送付、電話・E-mailによるユーザーサポート、URLデータベース更新の権利が含まれます。

※2 ライセンスは、WEBGUARDIANを経由してインターネット接続するクライアントPCの総台数分必要です。2,501ユーザー以上の価格は、個別見積もりになります。

※3 他社Webフィルタリング製品(UTM製品含む)を利用中の場合、新規乗換価格にて購入できます。

3. SecureZIP for GUARDIANWALL価格表

[SecureZIP for GUARDIANWALL]

ライセンス数※	希望小売価格(税別)	年間保守料金(税別)
1	¥378,000	¥75,600
2	¥756,000	¥151,200
3	¥1,071,250	¥214,200
4	¥1,386,000	¥277,200
5	¥1,701,000	¥340,200
6	¥2,016,000	¥403,200
7	¥2,331,000	¥466,200
8	¥2,646,000	¥529,200
9以上	お問い合わせください	お問い合わせください

※ インストールされた検査サーバーの合計CPU数、コア数により価格が変わります。

※ 1ライセンスあたり、2コアまでのCPUにご利用いただけます。

(クアッドコア CPUの場合は、1CPUあたり2ライセンス必要になります。)

※ 仮想環境でのご利用の場合は、割り当てられているCPU数の合計数分のライセンスが必要となります。

<GUARDIANシリーズについて>

GUARDIANシリーズは、キャノンITSが独自開発・販売を行っている企業向け情報セキュリティ対策製品群です。国内導入実績No.1 (※)を誇る、電子メールフィルタリングソフト「GUARDIANWALL」をはじめ、Webフィルタリングソフト「WEBGUARDIAN」、メール誤送信対策システム「GUARDIAN CorrectMail」など、さまざまなセキュリティリスク対策に役立つソリューションを提供しています。

詳細は【 <http://canon-its.jp/guardian/> 】をご覧ください。

(※)株式会社富士キメラ総研 2010ネットワークセキュリティビジネス調査総覧より

※GUARDIAN、GUARDIANWALL、WEBGUARDIAN、CorrectMailは、キヤノンITソリューションズ株式会社の商標です。

※SecureZIPは、PKWERE社の商標です。

※その他の製品名および社名などは各社の商標または登録商標です。仕様は予告なく変更する場合があります。